



なり、請求が翌年度の4月になるため。

問 出納閉鎖期間が5月末日となっているが、それまでに入金になれば良いのでは。

答 あくまでも3月末日までに債権が確定されていないため、翌年度収入とする。▽議案第6号

「平成24年度幌延町介護保険会計補正予算第2号」

問 幌延町の介護保険料が非常に高いが、それでも収支を合わせるのが難しいのではないか。

答 現状の中では計画どおりに推移している。

問 施設介護サービス給付費5百16万6千円を減額した要因は何か。

答 当初予算で41名の入所を見込んでいたが、実績が概ね40名程度になったため。

常任委員会 報告

第5回総務文教常任委員会

平成24年10月5日

◎総務課所管

善行表彰について

幌延町表彰条例の規定に基づき、隔年で実施することとなり、今年度は表彰の年であり、善行表彰者2名が報告された。

表彰式は、受賞者の都合により開催しないこととなった。

・浅野笑子氏

山林2筆、評価額、21万5千7百18円。立木評価額、8百42万1千円の寄付。

・村井虹城氏

書道教室で18年間で延べ7百70人余りの受講者の指導に尽力。

心象記念文化振興基金に延べ4百80万円余りの寄付など、地域文化振興に寄与。

第6回総務文教常任委員会

平成24年11月19日

◎総務課所管

情報通信施設運営について

10月17日に行ったIP告知端末機利用に関する先遣地視察の検証をした。

また、情報通信施設に係るランニングコストについて、説明を求めた。

幌延町情報通信施設運営事業ランニングコスト(平成23年度)

●収入の部

・契約料金7百6万5千4百49円、IPボックス保管料金47万1千40円、計、7百53万6千4百89円。

●支出の部

・IPボックス電気料1百47万7千7百28円、設備保守1百47万7千7百28円、土地使用料2百50万3千5百円、電柱供架料3百19万8千34円、計8百23万9千4百69円。

町の持ち出し、70万2千9百80円。

●契約は24年10月で4百96件。

問 臨時経費は毎年あるのか。

答 毎年発生しない。経常経費のみ発生する。

第7回総務文教常任委員会

平成24年12月10日

◎教育委員会所管

平成23年度幌延町教育事務の管理及び執行の状況に係る点検、評価について

効果的教育行政の推進と町民への説明責任を果たすことが目的であり、教育委員会の活動状況、学校概要、学校教育の充実、社会教育の取り組み、外部評価委員からの意見について報告があった。

学校教育の充実については、ティーム・ティーチング(複数の教師が協力して行う授業方式の一つ)によるきめ細かな授業の実施や全国学力調査を分析し、改善プランを作成した。

また、教員の研修では、巡回指導教員活用事業が採択され、教員1名加配されたことにより、若手教員に対して指導力アップにつな

がった。

読書活動では、住民に光をそそぐ交付金を使用し、図書の実を回っている。

健康教育の食の推進では、栄養教諭を中核とした食育推進事業を実施。親子料理教室や地域食材を使用したレシピや食育推進パンフレットの作成をし、配布した。

社会教育の取り組みについては、生涯学習センターの開館記念としてコンサートや版画展を開催、スポーツ施設等補修事業では、総合体育館の耐震改修工事、スポーツ公園野球場の地盤沈下改修を行った。

外部評価については、高木委員、富士元委員から、今後の課題が整理されており大変分かりやすい、今後も適切な情報公開を期待する。町民の学習意欲のニーズに定める教育行政の展開を期待するなどの意見をいただいている。

事業の方向性についてはすべて継続しているが、見直しをしながら進めるとの説明があった。